

第25回九州地区成年選抜野球大分県大会実施要項

主 催 大分県軟式野球連盟

後 援 大分県体育協会

後 援 大分合同新聞社

1. 期 日 平成30年5月12日(土)、13日(日)(雨天順延)
2. 場 所 白杵市民球場、弥生球場、千歳球場、三重大原球場
3. 参加資格 成 年
(1) その年度の4月1日以前に満40才を超えた選手で編成されたチーム。
選手は原則所属支部ブロックからの出場とする。
(2) 本連盟の登録に関係なく、支部ブロック内で選抜チームとして編成しての参加も可。支部予選は必ず実施し役員は観戦すること。
(3) 1チームのメンバーは監督を含め20名以内であること。
(4) 各支部1チームとする。
(5) 40才以下の監督は認められるが、選手としては出場できない。
4. 参加申込 「大分県軟式野球連盟事務局」宛
TEL 097-532-7133 FAX 097-532-9914
平成30年5月8日(火)迄に規定の申込書でFAX電送のこと。
参加料は各支部へ20,000円納入のこと。
5. 抽 選 会 平成30年3月17日(土) 大分県連会議室
各支部理事長の一括代理抽選を行う。
6. 大会規則 試合当日オーダー交換時、責任者より説明を行う。
7. 九州大会 10月13日(土)から2日間 沖縄県(優勝チーム)
8. 支部責任者へ (イ) 予選記録を添付して下さい。
(ロ) 出場チームには必ずこの要項を渡して下さい。
(ハ) 本年度登録〆切は3月31日迄です。早めにお願ひ致します。
9. 使 用 球 ナガセケンコーボール(公認M号)
10. そ の 他 (1) 支部長は申込書の確認をしFAXして下さい。
(2) 県大会を棄権した場合、支部は翌年の出場枠を失うこととなる。
(3) 各球場ともゴミ類は各自で持って帰ること。
(4) 各球場とも補助グラウンドがないのでキャッチボール程度に。
(5) マナーを守りましょう。

大分県軟式野球連盟

会長 佐保洋介

(公印省略)

★競技運営に関する申し合わせ事項（一般の部）★

県大会は、今年度野球規則及び競技者必携による他、下記の申し合わせ事項により行う。

1. 監督会議での説明または申し合わせ事項は、チーム全員に徹底させること。
2. ダッグアウトは、組合せ表の若い番号を1塁側とする。
(ただし、ダブルヘッダーの場合、時間の都合で変更することもありうる。)
3. 競技に参加する各チームは、試合開始時刻60分前に球場に参集し、試合開始30分前までに、監督または主将が打順表を本部に提出すること。(必ずユニフォーム着用)
◎第2試合以降のチームは、前の試合4回終了時にメンバー表4部を提出のこと。
◎打順表には、登録されている者全員を記入(フルネーム・フリガナ)すること。
※大勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
4. (1) 一般Aクラスの試合について
○試合は9回戦とする。
○延長戦は、準決勝戦までは、10回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦は延長戦を3回実施し、決しない場合は13回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦は無死満塁、打者継続、勝敗の決するまで行う。
○コールドゲームは、5回以降7点差とする。
○降雨、日没などで試合を変更する場合は、球場責任者の判断により両チームの監督に伝達する。
(2) 他のクラスの試合について
○試合は7回戦とする。
○延長戦は、準決勝戦までは、8回表から特別延長戦を行う。
○決勝戦は延長戦を2回実施し、決しない場合は10回表から特別延長戦を行う。
○特別延長戦、コールドゲームなどについては、上記の一般Aクラスに準ずる。
○九州成年大会、日本スポーツマスターズ大会は指名打者制を採用する。
5. 試合中は次の行為を禁止する。
(1) ベンチ内でのガム、喫煙。喫煙のために試合中にベンチ外に出ることは禁止する。
(2) ベンチからの好ましくない野次。
(3) プレイヤー、審判員に対する個人攻撃。(目にあまる行為は厳重に処分する。)
(4) ベンチ内での携帯電話及び携帯マイクの使用を禁ずる。メガホンは1個に限る。
6. 試合はホームプレートを含んで挨拶のときに、正規のユニフォームを着用した10名以上の選手がいなければならない。
7. 抗議のできる者は、監督または主将と当該プレーヤーのみとする。
8. ランナーズコーチも必ずヘルメットを着用すること。
9. 次打者は、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。低い姿勢で待つこと。
10. 試合をスピーディーに行うため、攻守交代は駆け足で行うこと。投手の投球練習は1回目と投手交代時は、7球(1分以内)2回以降は4球以内とする。
11. 攻守交代の最後のボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ることに。
12. 試合中、選手がスパイクの紐を結び直すため等のタイムは認めない。攻撃中ベンチ内で締め直すように心掛けること。
13. ファウルボールは一塁側、三塁側へ飛んだ方向のベンチ側が処理し、中間は攻撃側チームが処理する。主審へのボール渡しも適時攻撃チームが行うこと。
14. 試合中、内野手の転送球は一廻り以内とし、定位置付近で行うこと。
(試合状況により制限することもある。)
15. アンフェアな行為、スポーツマンシップに則しない行為は慎むこと。
(インターフェア、オブストラクションを厳しく適用する。)
16. 試合中はみだりにベンチから出ないこととする。キャッチボールは2組迄とする。
17. 球場内では、練習中でもユニフォーム(統一したもの)を着用すること。
18. 天候状況によりサングラスの着用は認めるが、帽子のツバに乘せることは禁ずる。
19. 捕手は安全のためファウルカップを着用すること。
なお、投球練習時の捕手は、必ずマスクを着用することとする。
20. 試合終了後のグラウンド整備は必ず両チームで行うこと。ベンチの清掃も行うこと。